

業界初、積水ハウス向け住宅物流にEVトラックを導入 ～センコー茨城車輛センターでEVトラック出発式を開催～

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)は、積水ハウス株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO:仲井 嘉浩、以下「積水ハウス」)向け住宅部材配送に、住宅業界では国内初※1 となる平ボディ※2 中型クラスのEVトラック「eCanter」を導入し、9月4日に茨城県古河市にある茨城車輛センターにて出発式を開催しました。



テープカットの様子

(左から、三菱ふそうトラック・バス(株) 国内販売統括部長 隅田 洋二、積水ハウス(株) 業務役員 関東工場長 齋藤 秀雄、センコー(株) 常務執行役員 マテリアル物流営業本部長 河野 誠司、積水ハウス(株) 執行役員 生産調達本部長 東 浩和、センコー(株) 常務理事 安全品質環境管理部長 浪平 和明、センコー(株) 茨城支店 支店長 東 良剛)



導入した平ボディ中型クラスEVトラック

住宅業界では、建築現場への部材配送のため日々たくさんの車両が運行していますが、輸送時におけるCO2削減が社会課題となっており、施主であるお客様からもCO2削減のニーズが高まっています。センコー茨城支店では、1日約400台のトラックが積水ハウスの住宅部材配送として運行しています。そこで、センコーは住宅部材配送で利用頻度が高い平ボディ中型クラスのEVトラックを、三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン)と共同で製作しました。

EVトラックは、茨城車輛センターに2台納車され、9月5日から運行開始します。センコーでは、2023年度内に同じタイプのEVトラック2台の導入を予定しており、今後もEVトラックの増車を進めていきます。

※1 当社調べ

※2 荷台が平らで、落下防止柵で囲まれているトラック

以上